

科目名		検査			
担当教員		清野 貴久	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	18
授業概要、目的、授業の進め方	電気工作物が使用者にとって安全に使用できる状態かどうかを技術基準、目視または関係規定類に基づき検査ができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	各種計測器の検査方法の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	計測器、配布プリント等				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検査の目的と種別		電気事件事例で検査の必要性を考える。検査の種別と種類を学ぶ。		
2	検査機器の種類		検査機器の計測器の実物を見ながら種類と用途を学ぶ。		
3	計器の選び方		各検査に応じた計測器の選び方を学ぶ。		
4	テスター		テスターの原理と使い方を学ぶ。		
5	メガー		メガの原理と使い方を学ぶ。		
6	アーステスター		アーステスターの原理と使い方を学ぶ。		
7	検電器		検電器の原理と使い方、感電防止について学ぶ。		
8	検相器		検相器の原理と使い方、相順について学ぶ。		
9	その他の測定		その他の計測器の種類について学ぶ。		
10	電気工事士筆記試験の問題		電気工事筆記試験 検査分野の問題演習。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	期末試験		計測器を正しく使えるように学習する。	
5 %	15 %	80 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気技術者として4年の実務 第1種電気工事士			